



# *Transformation*

A Foundational Study on Aging In Japan and China

# OVERVIEW

## THEME

- 地球規模の課題「高齢化」
- 課題先進国から課題解決先進国へ

## METHOD : DESIGN RESEARCH

- デザイナーがリサーチに入り込む
- 対象者の生活に没入、無意識のニーズを発見

## LOCATION / POP-UP STUDIO

- 東京 / アパートメント
- 奈良・吉野 / 町家（元薬局）
- 中国・成都 / ホステル

## THERM

2016年9月~12月



# TEAM

## Studio D

Jan Chipchase, Venetia Tay

## ロフトワーク

林 千晶、神野 真実、桑原 季、国広 信哉、カワナアキ

## 大学パートナー

慶應義塾大学SDM：神武 直彦、小高 暁、相崎 香帆里、  
隅屋 輝佳

慶應義塾大学SFC：佐々木 剛二

## 企業パートナー

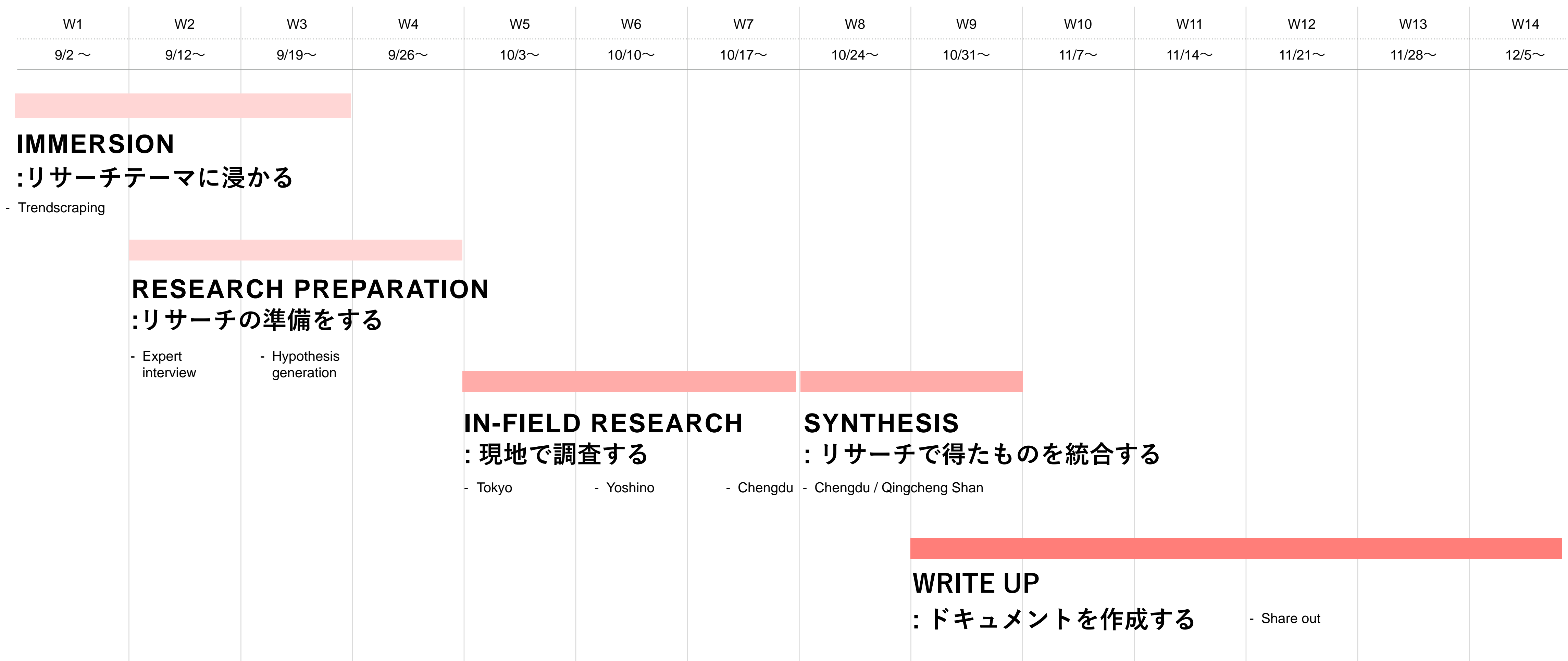
NEC（日本電気株式会社）：河又 恒久、平尾 英司、  
矢野 有美

パナソニック株式会社：福井 崇之

## ローカルガイド



# TIMELINE



# PROCESS

## - In-depth インタビュー

高齢者の生活状況や変化について理解すべく、高齢者本人を対象に彼らの生活圏内で行う。近親者を含める場合もある。90~180分程度。

## - Ad-hocインタビュー

地元の食料品店/病院/学校/公園/コミュニティセンター/銭湯/飲食店/小売店/路上などでインタビューを行う。10~60分程度。

## - Observations

地域の祭事への参加/神社等信仰にまつわる場への訪問/公園等での麻雀やグループエクササイズ/ダンスの観察/レストランや小売店での購買行為を通し、地域での生活状況/文脈を理解する。数分~半日。

## - Debrief

インタビューや観察を通して得た情報をインタビュー直後に書き出し、共有する。

## - Synthesis

Debriefを通して得た全ての情報から共通要素を抜き出し、情報の分類/統合を行う。情報の意味を理解、分類するプロセスで新たな要素の発想や、上位概念の検討を行う。



# INTERVIEW OVERVIEW

## インタビュー対象者総数 170名

- In-depthインタビュー 29名
- グループインタビュー 2グループ
- 夫婦への同時インタビュー 1組
- Ad-hocインタビュー 64組（グループ/個人を含む）

## インタビュー対象者の選定項目

- 性別
- 年齢（54～101歳。平均年齢77歳）
- 雇用形態（社員、自営業、個人事業主）
- 職種（オフィス、工場、農場）
- 家族構成（単身、夫婦/兄弟姉妹、子ども/孫/ひ孫、介助者）

退職前のキャリア：教師、教授、農家、公務員、看護師、工場労働者、工場経営者、路上清掃者、製薬会社社員、プロダクトデザイナー、医  
事務、主婦、自営業、木工職人、レストラン経営者、兵士、靴屋、写真家、タクシー運転手



# REPORT CONTENTS

## 0. INTRODUCTION

## 1. MACRO OVERVIEW

## 2. CONCEPTS

## 3. FINDINGS

- Retirement
- Community
- Relationships
- The Consequences of Aging
- Living Arrangements
- Activities & Mobility
- Technology
- Finances

## 4. ARCHETYPES

## 5. OPPORTUNITY AREAS

## 6. METHODOLOGY

## 7. REFERENCES

## 8. ABOUT THE AUTHORS



# REPORT CONTENTS

## 0. INTRODUCTION

## 1. MACRO OVERVIEW

## 2. CONCEPTS

## 3. FINDINGS

- Retirement
- Community
- Relationships
- The Consequences of Aging
- Living Arrangements
- Activities & Mobility
- Technology
- Finances

## 4. ARCHETYPES

## 5. OPPORTUNITY AREAS

## 6. METHODOLOGY

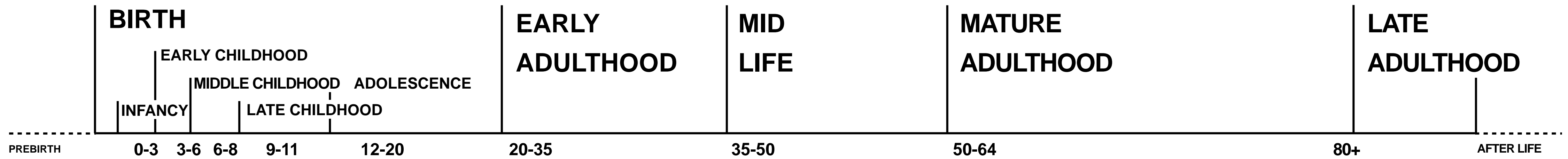
## 7. REFERENCES

## 8. ABOUT THE AUTHORS

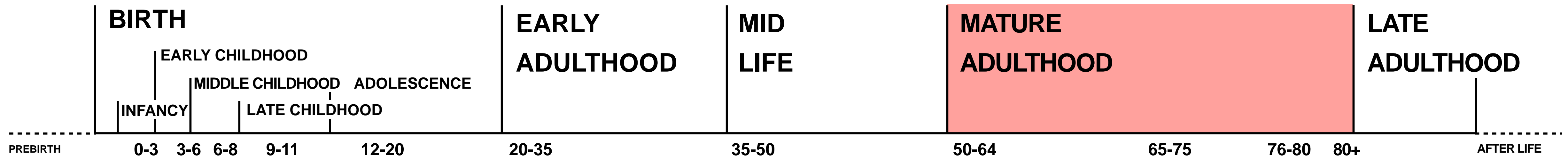




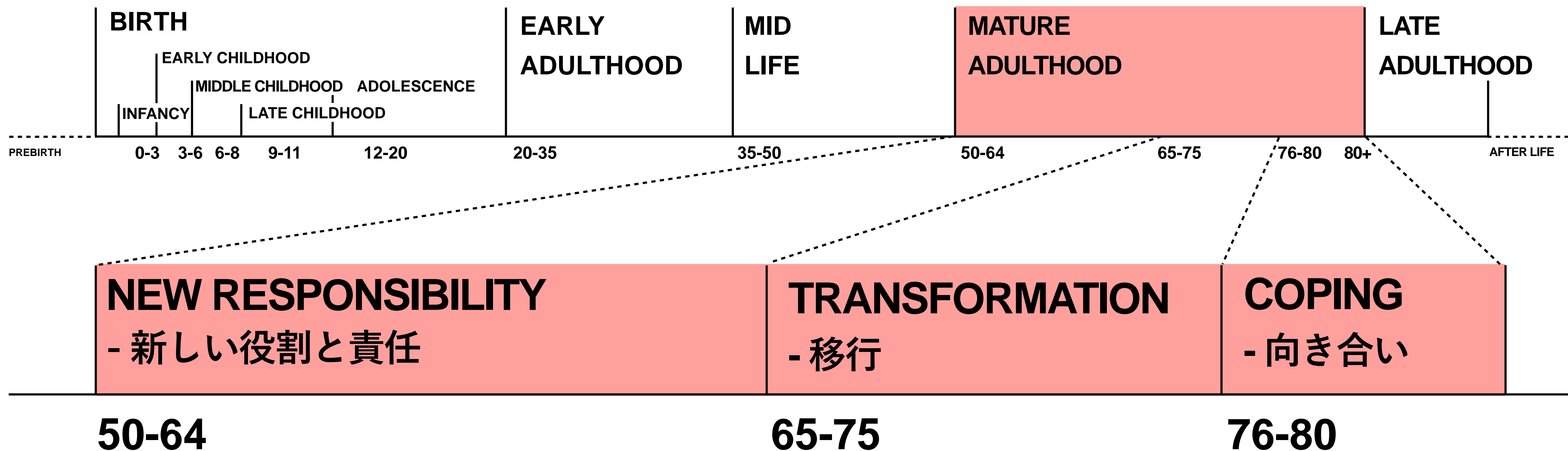
# CONCEPT : LIFE STAGES



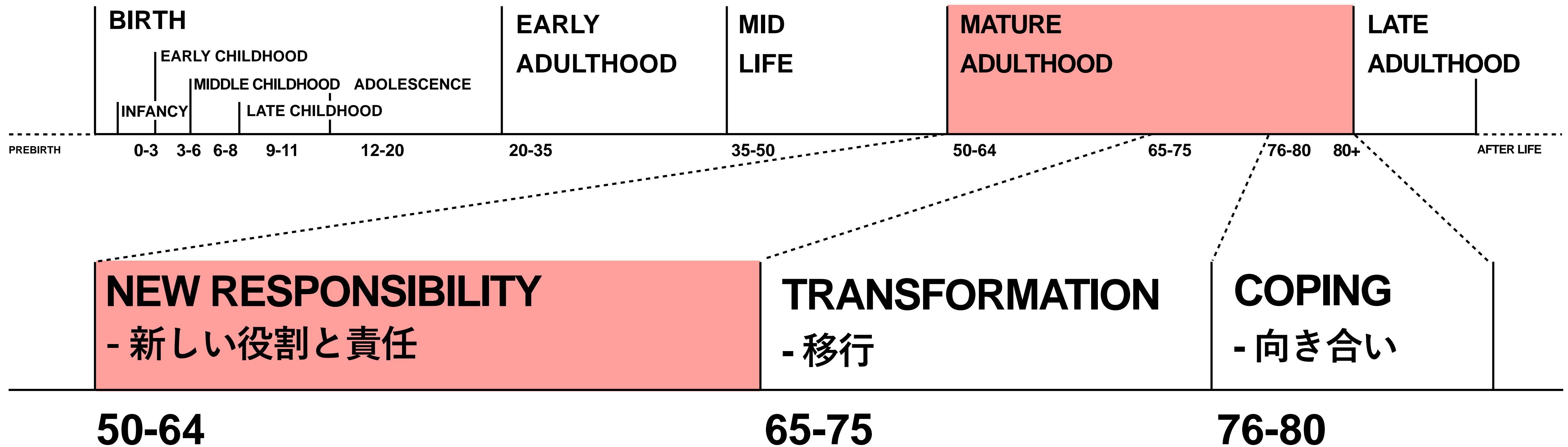
# CONCEPT : LIFE STAGES



# CONCEPT : LIFE STAGES

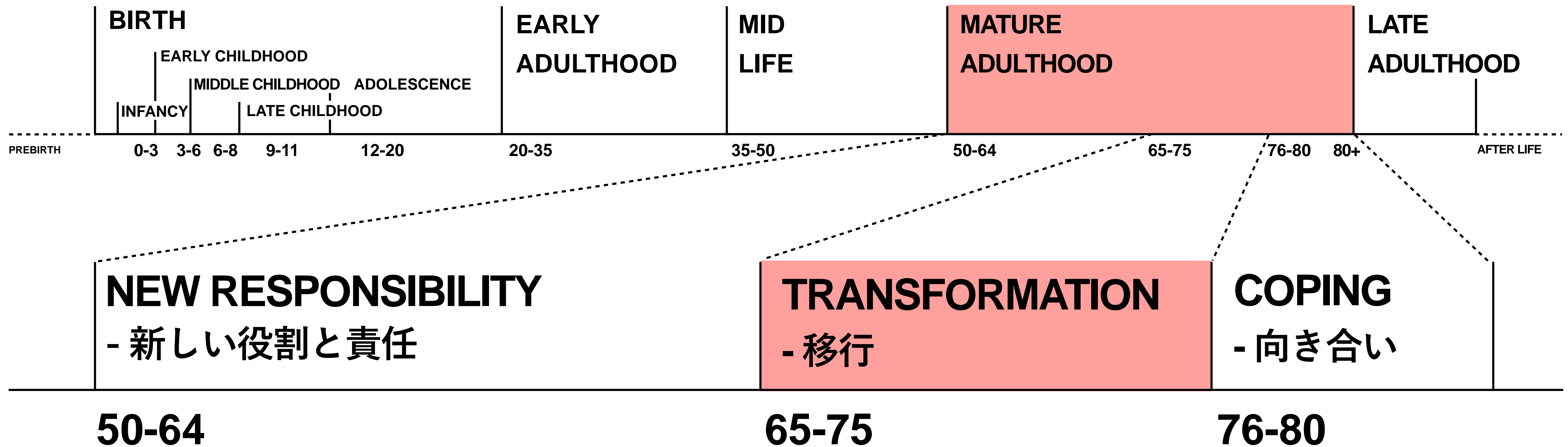


# LIFE STAGES



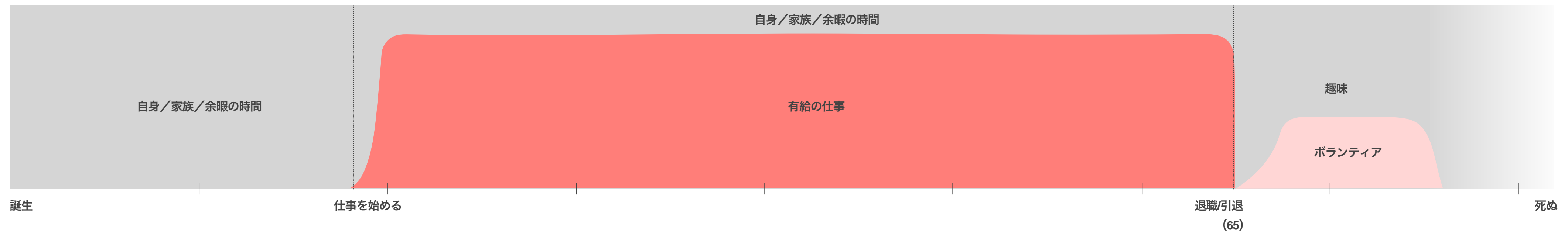


# LIFE STAGES

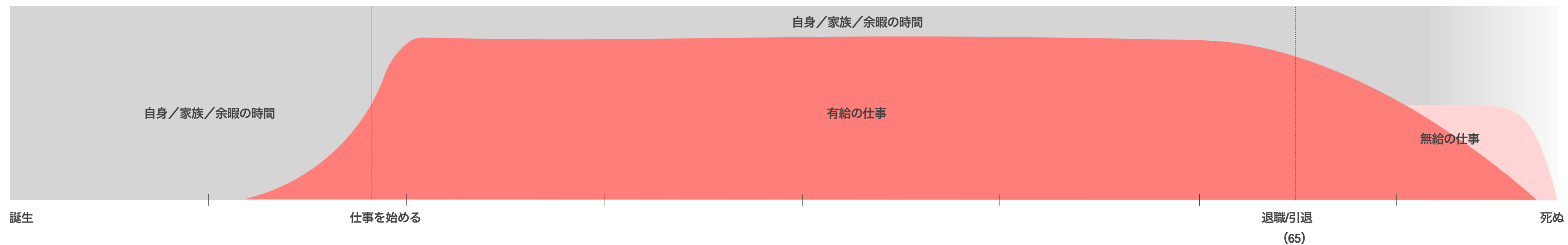


# MODELS OF RETIREMENT

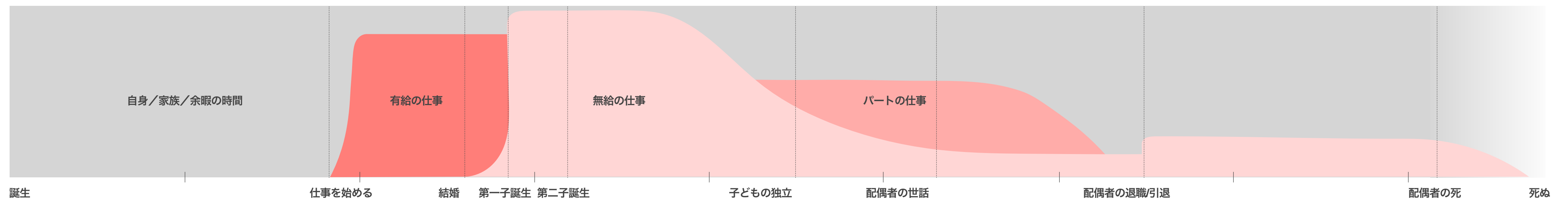
## サラリーマン - HARD STOP



## 自営業 - SOFT TRANSITION



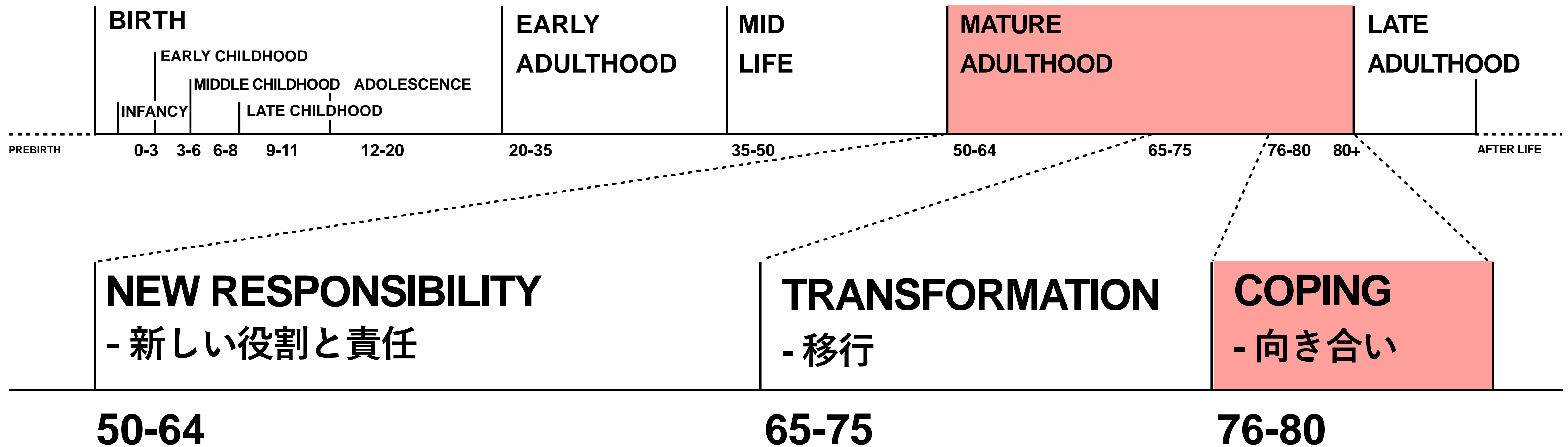
## 主婦 - CONTINUOUS



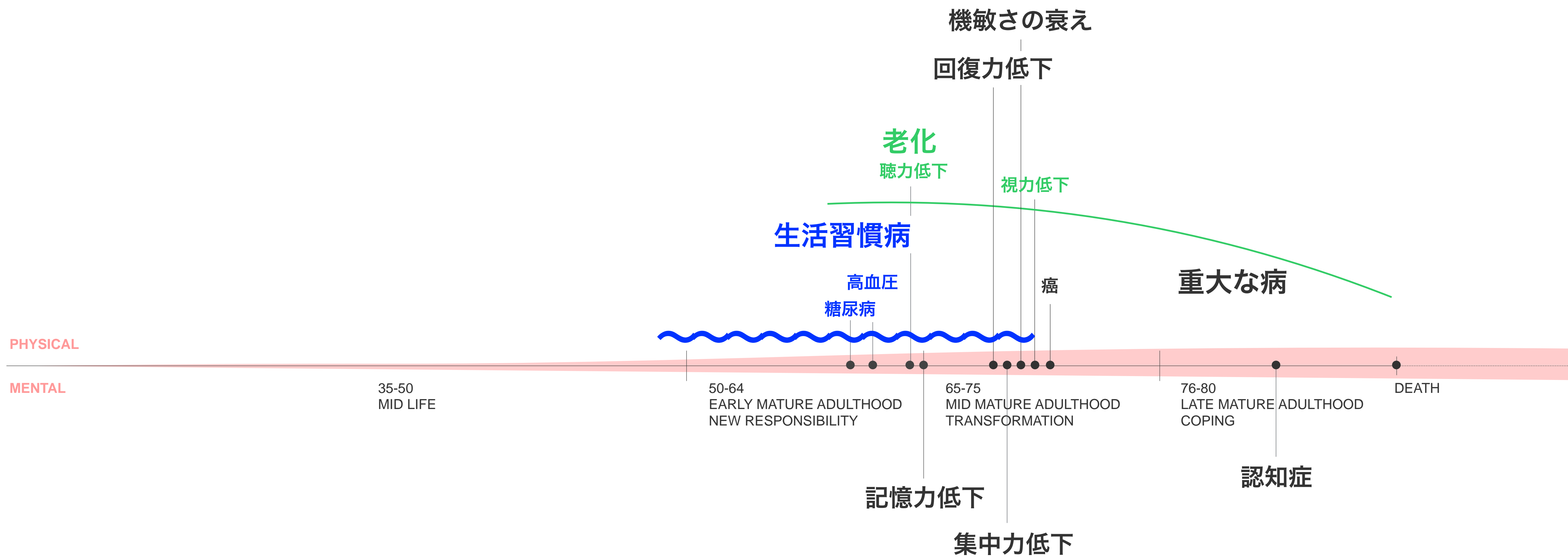




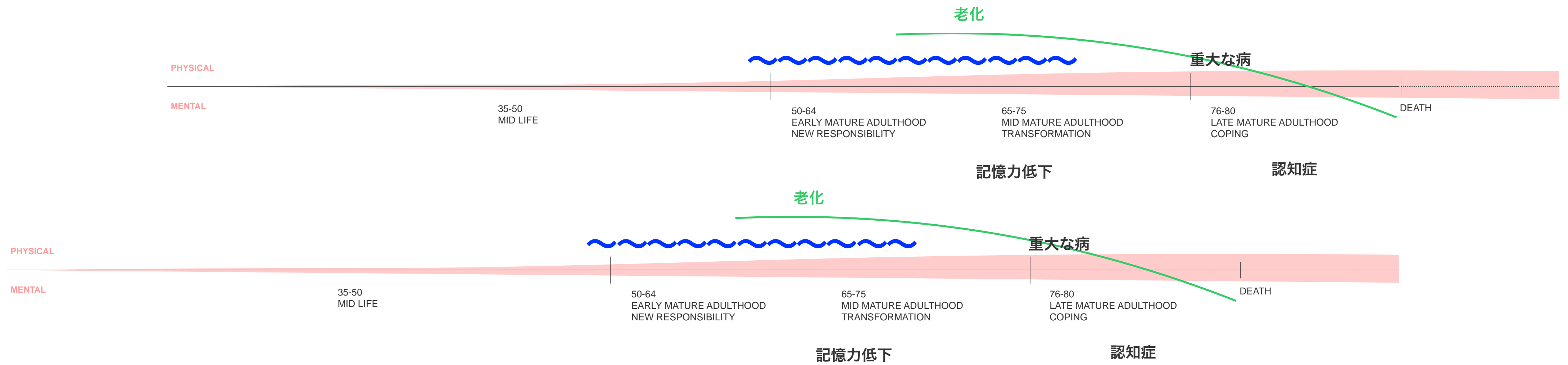
# LIFE STAGES



# GRADUAL MENTAL DETERIORATION

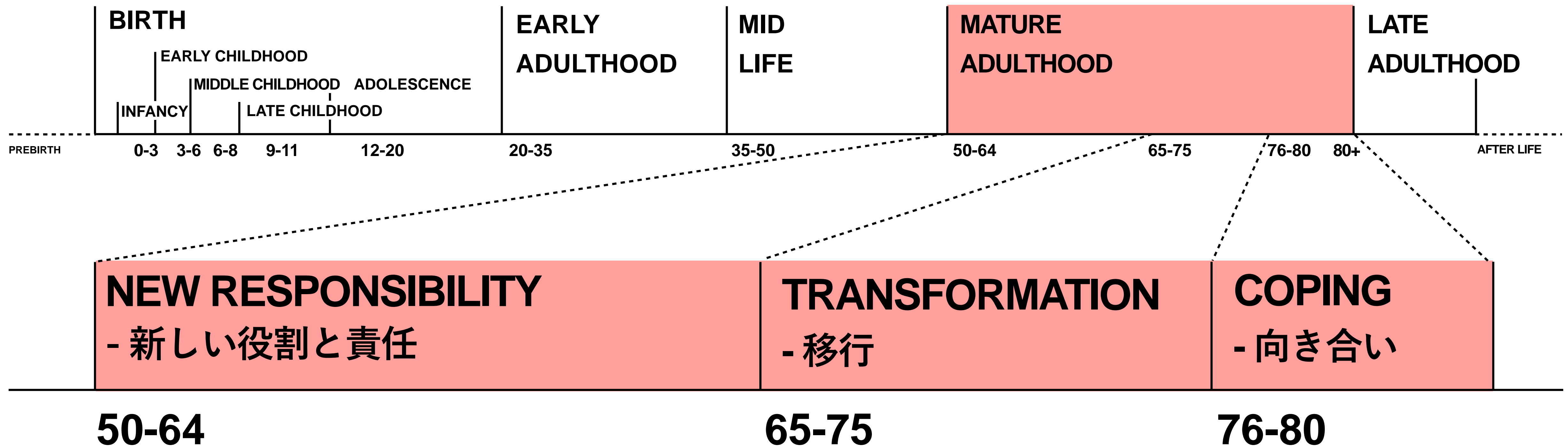


# COMPOUND EFFECTS





# CONCEPT : LIFE STAGES





# ARCHETYPES

---

# ARCHETYPES



Otomo

THE RETURNING ROVER

故郷に戻って、自分の生きがいを再発見する元写真家

Age : 67  
Life Stage : Transformation  
Living Arrangement: Lives with wife



Suzuki

BUTTERFLY WIDOWER

遠くの親類より、近くの友人との結びつきを大事にする生花講師

Age : 65  
Life Stage: Transformation  
Living Arrangement: Single



Zhu

THE RELUCTANT URBANISER

田舎から都会へ。苦手な環境に移住することを選んだ元農家

Age : 80  
Life Stage: Coping  
Living Arrangement: Lives with son's family



Kurata

COMMUNITY MAVEN

地元コミュニティは自分たちで作る、という意欲をもつ民生委員

Age: 76  
Life Stage: Coping  
Living Arrangement: Single, in social/city housing



Chen

MAHJONG DELIGHT

老人ホームにて、車椅子に乗りながら毎日を楽しむ元教師

Age : 83  
Life Stage: Coping ~  
Living Arrangement: Single



# THE RETURNING ROVER

大友

年齢：67

Life Stage：Transformation

同居者：妻

“

親父の遺した吉野の写真をデジタル化したい。  
それが私のライフワーク。

”





# BUTTERFLY WIDOWER

鈴木

年齢：65

Life Stage：Transformation

同居者：なし(单身)

“

私に何かがあったときに彼らが助けてくれる  
と思うと、彼らに寛容になれるんです。

”



# THE RELUCTANT URBANISER

Zhu

年齢：80

Life Stage：Coping

同居者：息子家族

“

太陽とともに起き、太陽とともに寝る。  
農家だった頃は、そんな生活だったよ。

”



# COMMUNITY MAVEN

倉田

年齢：76

Life Stage：Coping

同居者：単身(公営住宅)

“

人々といい関係でいるには、  
適切な距離のとり方と頻度が重要ね。

”



# MAHJONG DELIGHT

Chen

年齢：83

Life Stage：Coping~

同居者：単身(ケアセンター)

“

家族のことは大好きだけれど、  
ケアセンターに住むことがお互いにとって  
良いことなんです。

”



(2) 判断力のない場合

A) 急病・事故などで意識が醒明でないとき (急性期)  
蘇生措置は望まない。 透析、人工呼吸器  
は一切拒否します。 管につながれるのを拒否  
食べられなくなると、そのままにしてほしい。

B) 認知症が進

(字消)や老人  
一さい行わ

C) 病

OPPORTUNITY  
AREAS

2011年11月3日記入  
2011年11月3日記入  
年 月 日記入

# OPPORTUNITY AREAS

Opportunity Areasとは、新たな製品やサービスを考える際の視点や領域として定義したものを指します。これらはフィールドリサーチからのインサイトや、そこから定義したArchetypeを元に、見落とされている、あるいは十分に満たされていない人々のニーズや緊張関係の発生している事柄、体験を阻害しているものが何かをもとに抽出しました。

なお、このOpportunity Areasでは、高齢社会研究において、すでに顕在化している課題として身体的 / 精神的な衰えや、健康問題、経済的な問題についても扱っています。本リサーチは高齢社会の基礎調査として実施し、それぞれの領域についてのより深い理解は次期への課題とします。

国連の推計によると、2050年までに日本の100歳以上の人口は100万人を突破すると言われています（UN, Department of Economic and Social Affairs.2002）。100歳まで生きることが当たり前になれば、本レポート内で取り上げる個人やコミュニティレベルでの課題はもちろん、年金や雇用といった社会システムにも大きな影響が生じるでしょう。

本レポートでは、9つのOpportunity Areasを定義しました。

SERENDIPITOUS STREET LIFE  
LET'S MEET  
EXTENDING EMPLOYMENT  
BROADENING HORIZONS  
IDEAL ROUTINES  
AFFORDABLE MEDICAL CARE  
MY LAST REQUEST  
SHARING IS CARING  
A WEIGHT OFF MY SHOULDERS



# OPPORTUNITY AREAS

50-64

EARLY MATURE ADULthood

- NEW RESPONSIBILITY

65-75

MID MATURE ADULthood

- TRANSFORMATION

76-80

LATE MATURE ADULthood

- COPING

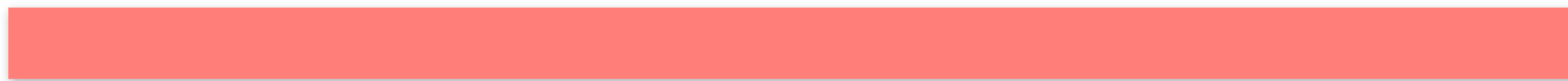
+80

DEATH

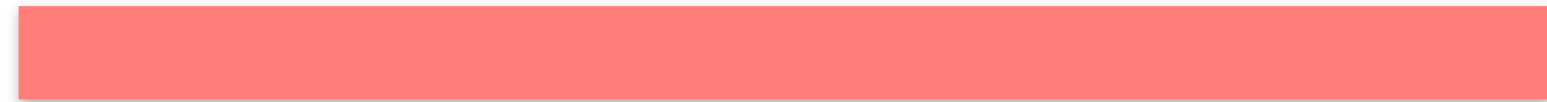
- RETURNING TO SOIL

AFTER LIFE

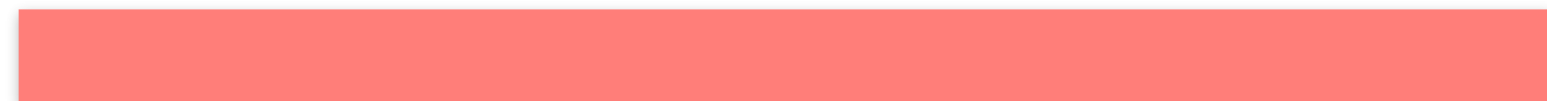
SERENDIPITOUS STREET LIFE



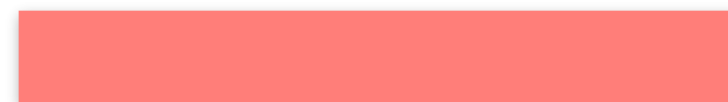
LET'S MEET



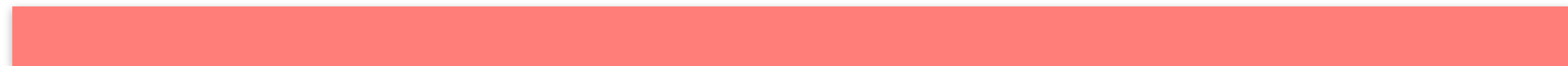
EXTENDING EMPLOYMENT



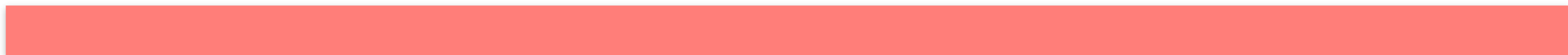
BROADENING HORIZONS



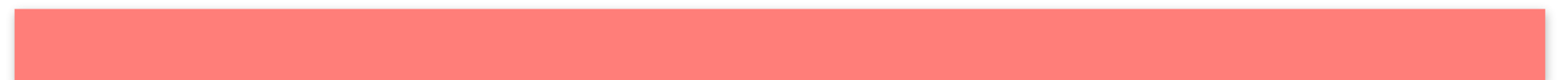
IDEAL ROUTINES



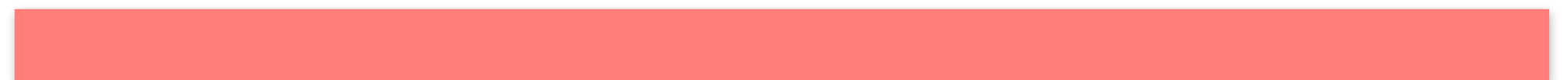
AFFORDABLE MEDICAL CARE



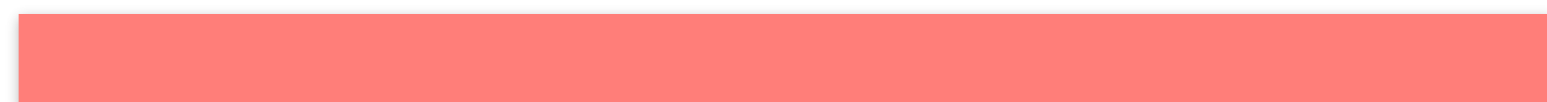
MY LAST REQUEST



SHARING IS CARING



A WEIGHT OFF MY SHOULDERS



# SERENDIPITOUS STREET LIFE

Social Network / Relationship

## Problem

- ・日本の多くの公共空間は、高齢者に最適化されているとは言えません。
- ・日本の高齢者コミュニティは公共空間において互いに関わりを持つような活動に、馴染みがありません。

## There is an opportunity to:

偶発的な出会いを生むような公共空間のリデザイン  
高齢者をコミュニティに巻き込むきっかけづくり

50-64

NEW RESPONSIBILITY

65-75

TRANSFORMATION

76-80

COPING

80+

RETURNING TO SOIL AFTER LIFE

私の2つのルールは、笑顔で暮らすことと、家に閉じこもらないこと。

—68 - 80歳, 吉野, 上ノ町婦人交流会(吉野)

遠くの親類より近くのご近所さん。

—68 - 80歳, 吉野, 上ノ町婦人交流会(吉野)



# LET'S MEET

Social Network / Relationship

## Problem

- ・多くの高齢者は社会との隔たりを感じており、社交の輪を広げたいと思っています。
- ・孤独を感じることは、モチベーションや精神状態の維持を困難にしていると言えるでしょう。

## There is an opportunity to:

これまで出会ったことのない人々や世代を超えた人々との出会いのサポート  
共通の趣味や関心から、孤独などの寂しさによって生まれる負の感情までも共有  
できるきっかけづくり

50-64 NEW RESPONSIBILITY	65-75 TRANSFORMATION	76-80 COPING	80+ RETURNING TO SOIL	AFTER LIFE
-----------------------------	-------------------------	-----------------	--------------------------	------------

田舎の生活のほうが好き。たくさんの友人がいるからね。

—80歳, 男性, 成都, 元農家

ほかの人も自分と同じような疾患を抱えていて、同じ痛みを感じているんだと思うと、痛みが半分感じられるようになるの。

—68 - 80歳, 吉野, 上ノ町婦人交流会(吉野)

## Problem

- ・平均寿命が延び、働くことのできる年齢も延びていますが、高齢者は生産的な人材として認識されていなかったり、有効活用されていません。
- ・彼らが培ったノウハウを活かすことで年金以上の収入を得られる可能性があります。

## There is an opportunity to:

高齢者が仕事を続けるためのサポート  
職業トレーニングの機会や、スキルと仕事のマッチング

# EXTENDING EMPLOYMENT

Employment / Retirement / Finance

50-64 NEW RESPONSIBILITY	65-75 TRANSFORMATION	76-80 COPING	80+ RETURNING TO SOIL	AFTER LIFE
-----------------------------	-------------------------	-----------------	--------------------------	------------

57歳の時と比べ、まだ写真も撮れるし以前よりもさらにいろんなことができるよ。

—74歳, 男性, 吉野, 本屋

退職後に仕事は楽しいものだと気づいたのよ。

—63歳, 84歳, 女性, 成都, 路上休憩者

他の人の役に立ちたいという思いから、私は70歳で引退しました。そしてボランティアを始めました。これ以上お金を稼ぐことには興味がありませんでしたから。

—81歳, 女性, 吉野, 主婦 (元和菓子職人)

## Problem

- ・ TransformationからCopingへの変わり目において、身体機能の低下が始まり、誰かのサポートに頼る生活へと変化していきます。
- ・ 結果として、高齢者の行動範囲が狭まっています。

## There is an opportunity to:

加齢と共に行動範囲が狭まることを防ぎ、屋内、屋外を問わず、彼らにとって大切な行動範囲を維持するためのサポート



車を使うことができなくなったら、公園の中を歩くくらいしかできなくなるね。

—77歳, 男性, 吉野, 升職人

病院に行くときは、息子のお嫁さんに頼んで送ってもらうか、近くのバス停まで連れて行ってもらうわ。

—85歳, 女性, 吉野, 主婦 (自営業: 和紙製造)

# BROADENING HORIZONS

Social Network / Relationship / Will / Quality of Life

# IDEAL ROUTINES

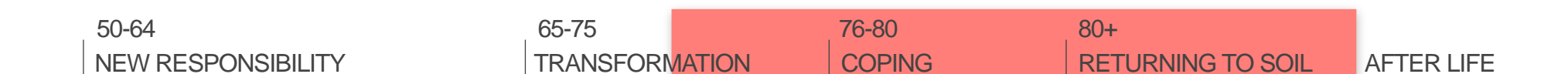
Rituals / Routines

## Problem

- ・行動範囲が狭まり、記憶力が衰えていけばいくほど、毎日の習慣や繰り返し行われる単純な行為が、これまでより大きな意味を持つようになります。
- ・食事を作る、簡単な運動をする、薬の服用をするといった、単純な作業でさえ、それができるということに喜びを感じるようになります。

## There is an opportunity to:

当人の日常動作に必要なものが何かを気づかせ、心の余裕を生む仕組み



毎朝目を覚ました時、まだ生きているという喜びを感じられるの。

—78歳, 女性, 成都, 大学教授

母は昔料理が好きだったけれど、最近は何もしなくなったわ。

—62歳, 女性, 東京, 主婦 (自宅介護者)

# AFFORDABLE MEDICAL CARE

Medical / Healthcare / Finance

## Problem

- ・年齢を重ねるほど、人々の医療への依存は大きくなります。
- ・高齢社会の中で患者が増加すると、医療機会へのアクセス、そして医療を受けることに対するコストをカバーすることが難しくなっていきます。

## There is an opportunity to:

経済的、身体的負担の低い医療機会（自宅ケアを含む）の提供

50-64 NEW RESPONSIBILITY	65-75 TRANSFORMATION	76-80 COPING	80+ RETURNING TO SOIL	AFTER LIFE
-----------------------------	-------------------------	-----------------	--------------------------	------------

もし自分の口からご飯を食べられなくなったら、延命措置は望まないわ。ただホスピスに行きたい。

—77歳, 女性, 東京, 主婦 (旅行愛好家)

友達と一緒に老人ホームに行きたいわ。

—78歳, 女性, 成都, 大学教授

## Problem

- ・私たちが「死」を経験するのは一度きりです。そのため私たちのほとんどが、死がもたらすものを経験したことがありません。
- ・私たちはどのように死に向かうことができるのでしょうか。また、その死はまわりの大切な人々にどのように影響するのでしょうか。

## There is an opportunity to:

自身の身のまわりの人々にとって、「死を経験しないこと」が最も良いことなの  
でしょうか

50-64  
NEW RESPONSIBILITY

65-75  
TRANSFORMATION

76-80  
COPING

80+  
RETURNING TO SOIL AFTER LIFE

ベッドの上でたくさんのチューブにつながれたまま死にたくないで、終活ノートを書き始めました。

—77歳, 女性, 東京, 主婦 (旅行愛好家)

ガンの検査をした時、娘の携帯番号を緊急連絡先にしました。

—74歳, 男性, 吉野, 元商社勤務

# MY LAST REQUEST

Will / Quality of Life

私の生き方連絡ノート

# SHARING IS CARING

Notification / Relationship / Community

## Problem

- ・孤独死は高齢者にとっての大きな懸念となっています。今日の日本では600万の単身世帯があり、うち25.3%が65歳以上の世帯です。
- ・多くの単身世帯は社会から取り残され、何かが起きても、誰も気づかないことを恐れています。

## There is an opportunity to:

コミュニティの中で単身世帯の高齢者への関心を高め、彼らを気にかけるきっかけづくり  
人々の間で存在を知らせ合う機会の提供

50-64  
NEW RESPONSIBILITY

65-75  
TRANSFORMATION

76-80  
COPING

80+  
RETURNING TO SOIL AFTER LIFE

植物に水をあげることで、私が元気であることをご近所さんが知ってくれるんだよ

—74歳, 男性, 吉野, 元商社勤務

もし、深夜に電気がついたままのお家があれば、その人の無事を確認するために家族など然るべき人に電話をかけたりする。その連絡先は常に控えてある。

—54 - 84歳, 吉野, 婦人会 (吉野)

# A WEIGHT OFF MY SHOULDERS

Relationship / Tribe

## Problem

・年をとるにつれて発生する「家族を煩わせたくない」という気持ちについては、同じ課題をかかえ、痛みを理解してくれる境遇の人であれば共感できることがあります。

## There is an opportunity to:

一方的な判断をされずに話を聞いてくれる新しい機会の提供

50-64 NEW RESPONSIBILITY	65-75 TRANSFORMATION	76-80 COPING	80+ RETURNING TO SOIL	AFTER LIFE
-----------------------------	-------------------------	-----------------	--------------------------	------------

もし私が転んだことをども達に言ったら、怒られちゃうわ。

—85歳, 女性, 吉野, 主婦 (自営業: 和紙製造)

私たちは怪我や病気について話すの。そうすると自分だけじゃないって気づけるのよ。

—68 - 80歳, 吉野, 上ノ町婦人交流会(吉野)